

篠岡地区学校再編に伴う城山三丁目、四丁目の 通学区域に関する説明会で頂いた質問や意見等（要旨）

第1部（13時～ 於：城山会館 大ホール） 15世帯、20人

○3人兄弟で一番下の子だけが桃陵中に該当してしまう。これは経過措置の中の特別な事情ということで、光ヶ丘中にしていただけるのか。今さら桃陵中と言われても学校用品など負担が大きい。

ご兄弟がいるなどの事情は、できる限り配慮していきたいと考えている。

○城山が桃ヶ丘小／桃陵中になると、大草地区だけが光ヶ丘小／光ヶ丘中に通うことになる。大草地区の子は、光ヶ丘小／光ヶ丘中ではかなり少数派になってしまい負担が大きい。その点は考慮していただきたい。（意見）

○距離で考えるのであれば大草も配慮するべきではないか。

通学距離が著しく遠距離になる児童にはスクールバスによる通学を検討している。

○再編先の学校で少数派になる子どもたちに対し、教育環境を良くしていける施策はあるのか。

再編前から学校間交流を実施し、児童がお互いを知った上で再編ができるように、学校と調整を進めている。

○兄弟で光ヶ丘中と桃陵中に分かれるよりも、上の兄弟がよく知っている光ヶ丘中に通学の方が気持ち的にも楽になると思し、親もよく知っている学校なので安心できる。精神面を考えれば、光ヶ丘小／光ヶ丘中の方が、距離は遠くなるが納得できると思う。（意見）

○「小学生は通学の負担と安全を考慮し、桃ヶ丘小に通学する」とあるが、「安全」とはどういうことか。

例えば、学校を選択できるようにするとした場合、通学団が少人数になったり、低学年だけで通学しなければならない事態が発生するなど、通学団の編成が難しくなる可能性があるという意味である。

○子どもがR9年度には中2と中1になる。中2の子を、R8年度に例外的に桃陵中に入学することができないか。

現時点ではR9年度よりも前に学区を分けることは検討していない。

○上の子が光ヶ丘中に通っているため、下の子が光ヶ丘中に通うとなった場合、他の子は桃陵中に通う子が多いため、少人数で光ヶ丘中まで通うことになる。そういった場合、光ヶ丘中まで自転車で通学できるようにしていただけないか。

今後、自転車の対象エリアを示したいと考えている。

○兄弟で学校が変わる場合、参観日など学校行事が重なることのないようにしてほしい。

配慮できるよう学校と調整していく。

○城山三・四丁目はどちらの案にしてもスクールバスは対象にならないのか。。

ニュータウンについては、学校までの距離や緑道や歩道が比較的整備されているため、スクールバスの対象にすることは考えていない。

○R9年度は確定なのか。

R9年度を目指して進めているが決定しているわけではない。

○資料には桃ヶ丘小／桃陵中に通うメリットが書かれているが、デメリットはどのようなことが考えられるか。

桃ヶ丘小／桃陵中の案のデメリットとしては、新たに安全に通う通学路の設定が必要になることなどが考えられる。

○資料には財政的なことが全く触れられていない。財政的な観点で説明してほしい。

学校施設の老朽化が進む中で、目標耐用年数を80年としたときに、同じ数の学校を建替えるとした場合、2年に1校ずつ建替えないと間に合わない。また、年々建築費が上がっている。そういった中で全ての学校を建替えることは現実的ではない。子どもたちの教育の在り方、学校の老朽化の状況、市の財政状況、これらを一緒に考えていく必要がある。

○来月には保護者の意見交換会、2月には計画の策定とある。焦っているように見える。スケジュールが早すぎるのではないか。もう少し地域の方の意見を聞いてもよいのではないか。（意見）

○城山三丁目、四丁目の通学区域はアンケートの結果で決まるのか。

アンケート結果等を「通学区域審議会」に諮り、答申をいただくことになる。

○どちらの案もメリット・デメリットを示した上でアンケートを実施してほしい。（意見）

○人口の減少率から計算すると、少人数で通学する子が出てくることは必然である。スクールバスを出すのであれば、乗せることができる子は乗せていってあげればよいのでは。バスが空いている状態で運行するのが行政サービスの効率が悪い。

スクールバスの考え方等を見直しをしているので、決まり次第お示しする。

○R9年度に息子が小学6年生になる。大城小の近くに住んでいるが、急に光ヶ丘小に変わって遠距離を歩かなければいけない。高学年だから他の子をリードしなければいけないが、通学路が変わるため心配である。

新しい通学路をお示しした上で、教育委員会においても通学路の点検などを実施し、少しでも皆さんの不安を解消できるよう取り組んでいく。

○アンケート調査の結果は公表されるのか。

8月中旬を目途にホームページ等で公開する予定である。

○大城小が近いからという理由で家を買った人も多い。R9年度ではなく、再編の時期をもっとしっかり考えてほしい。

再編時期が早すぎるという意見はたくさんいただいている。しかしながら、児童の減少が続いている中で、学校規模が小さいと中学校・高校に進学した際にギャップを感じる子もいる。子どもたちの将来のためにできるだけ早く取り組んでいきたいと考えている。

○令和8年度の大城小の1年生の見込みを教えてください

令和8年度の大城小の新入生は、26人（男子14人、女子12人）で1クラスとなると見込んでいる。

○第2期再編はいつ頃実施される予定なのか

今後の児童生徒数の推移等を注視しつつ検討することになる。
しかしながら、学校再編にかかる子どもたちへの負担を考えると、最低限、義務教育9年間の間に2度の再編を経験することがないようにしたいと考えている。

○第2期で篠岡小、篠岡中に再編されるのは決定なのか、第2期ありきの計画なのか。

市として、全国的な少子高齢化の状況を鑑みるに、将来的には第2期再編が必要になるだろうとの見込みから計画立てたものであり、第2期再編のための第1期ということではない。

○城山地区は大城小ができた折にも、通学区域の変更を迫られ、行政主導で学区を割られた経緯がある。今回も行政の都合で学区割を決められるのでは、と不信感を持っている。

今回の学校区割のみならず、学校再編の取組そのものについても広く保護者や児童らの意見を聞きながら、進めていきたい。

○人口減小を前提とした再編計画だと感じるが、桃花台全体のまちづくりに関する計画等も持っているのか。

人口減少については、本市固有の課題ではなく、全国的な課題だと認識している。教育委員会としては子どもたちの教育環境の整備こそが最も優先される事項ではあるが、他部署とも連携し、まちづくりの視点も大切にし、例えば魅力的な学校づくりや学校と地域の連携を深めていくことで、まちづくりにも寄与していきたいと考えている。

○児童らの意見はどのように聞くつもりなのか。

先般、7月の14日から18日の期間で篠岡地区の小学生（4～6年生）と中学生（1～3年生）を対象としたアンケート調査を実施したところである。

○児童らのアンケート調査の結果は公表されるのか。

8月中旬を目途にホームページ等で公開する予定である。

○今回の通学区域に関する調査も同様に公表されるのか。

取りまとめ次第、ホームページで公表させていただく。

○城山三丁目、四丁目の通学区域はアンケートの結果で決まるのか。

アンケート結果等を「通学区域審議会」に諮り、答申をいただくことになる。

○仮に城山三丁目、四丁目が桃ヶ丘小／桃陵中に再編されると、大草地区の子だけが光ヶ丘小／光ヶ丘中に再編されることになる。

大城小をそのままいずれかの学校区に再編するということは考えられないか。

また大草地区の意見を聞く機会には設けられないのか。

第2回考える会での再編計画案に対し、城山三丁目、四丁目の通学区域に関する意見をいくつか頂いたことから、本日の会を設けたところである。

ただいまの意見、また第1部での同様の意見をいただいたことから、今後、対案や他地区の意見を聞く機会についても改めて検討してまいりたい。

○せっかく仲良くなった友だちと別れたくない。

学校とも十分に協力し、子どもたちの声に耳を傾けながら、不安や心配を少しでも軽減できる方法を検討してまいりたい。

○令和9年度の野外学習や修学旅行、卒業アルバムなどはどうなるのか。

現在、学校関係者等との協議の場を別に設け、そういった課題出しや対応策について検討を進めている。

○少人数学校にはどのような課題があるのか。

学校規模が小さくなると一人ひとりに目が届きやすいなどのメリットもあるが、多様な考えに触れる機会の減少や学校行事や部活動への制限、クラス替えができないことによる人間関係の固定とトラブル回避の難しさ、男女比の偏りなどが考えられる。